



古賀市記者懇談会（6月）

令和2年6月26日（金）13時30分～

古賀市役所 第一委員会室

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

①「お元気ですか」メッセージカード配布【P1】

【古賀市役所】（問い合わせは介護支援課 吉武=092-942-1156）

新しい生活様式における、高齢者を見守る新しい取り組みとして地域活動サポートセンターゆい・古賀市社会福祉協議会・古賀市地域包括支援センター（寄って館）が連携し【「お元気ですか」メッセージカード】を作成し、見守り対象者に配布しました。

②未来を創るあなたへ ～コロナに負けるな！高校生などへ応援メッセージ～【P2】

【古賀市役所】（問い合わせは予防健診課 飯尾=092-942-1151）

市独自事業「古賀市高校生等生活支援金」を行うため、対象となり得るすべての世帯に申請書を送付しました。その際、心のサポートとして、中学校卒業時の先生方など61の応援メッセージを同封しました。

③シトラスリボンプロジェクト古賀市民へ「優しさの輪」をつなげます【P3】

【古賀市役所】（問い合わせは人権センター 森下=092-942-1128）

古賀市では花見小学校で始まった新型コロナウイルス関連の差別をなくすためのシトラスリボン運動の取り組みを市民全体に広めようと公共施設などにパネルとリボンを設置し、市民向けの啓発を始めました。

④「くるサポ訪問」妊産婦さん訪問をしています【P4】

【古賀市役所】（問い合わせは子育て支援課 松尾=092-942-1515）

古賀市子育て世帯包括支援センターKuRuKuRuでは令和2年4月から「くるサポ訪問」を開始しました。4月は緊急事態宣言のため、電話を中心に実施していましたが、5月からは新型コロナウイルス感染予防を徹底し、妊産婦さん訪問を始めています。訪問時には、お祝いとして、協賛企業から提供いただいた、赤ちゃんグッズの試供品や手作り雑貨などをプレゼントしています。

■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 波多江、吉田=092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

「お元気ですか」メッセージカード配布

地域活動サポートセンターゆい・古賀市社会福祉協議会・古賀市地域包括支援センター（寄って館）が連携し【「お元気ですか」メッセージカード】を作成し、見守り対象者に配布しました。

新しい生活様式における、高齢者を見守る新しい取り組みが広がっています。

■経緯・目的など

新型コロナウイルス感染症の影響下、【高齢者の見守りをこれからどう行うのか】という大きな課題に、地域も社協も包括も、それぞれが頭を悩ませていました。

- ・地域の見守りボランティアは「訪問など対面での見守り活動ができない」。
- ・社協が支援する福祉会の行事やサロンなど「公民館などでのつどいの活動もできない」。
- ・包括では窓口相談が減り、こちらから様子伺いの電話をかけると「オレオレ詐欺と間違えられる…」。

【こんな状況でも何かできることはないか…】と3者で協議し、「家の外から見守る新しいツールをつくろう！」「せめて小さなメッセージを込めよう！」「私たちが心配しています。見守っています。という想いを伝えよう！」「直接会えないから、郵便受けに入るメッセージカードをつくろう！」と、包括と社協の電話番号を入れた【「お元気ですか」メッセージカード】を作成し、5月中旬から見守り対象者に配布しました。

■実施内容・反響など

5月中旬より地域のサポーターや福祉員が独居高齢者など見守り対象者に配布。配布する人と受け取る人の名前を書き、伝えたいことをひとことカードに書いてチラシ等配布物に添えてポストインしました。配布後、受け取った方が届いたカードの裏に「元気ですよ！」とメッセージを書いて配った人の家に返事をされたり、「元気ですよ！」とお礼の電話があったなどという反応がありました。また、育成会と協力して、子どもたちからの励ましのメッセージを添えてカードの配布をした地域もありました。

【このピンチを逆に地域を繋げるチャンスに】【これからも人と人がつながる取り組みを】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止から生まれた取り組みが、地域のつながりをよりあたたかいものにする事業へと広がっています。



【問い合わせ先】

古賀市役所 介護支援課 包括支援センター係
担当：吉武 松島
電話：092-942-1156

未来を創るあなたへ

～コロナに負けるな！ 高校生などへ応援メッセージ～

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、生活支援が必要な高校生がいる世帯に対し、家計負担の軽減を図り安心して学業に勤しんもらうため、1人につき1万円を支給する市独自の事業「古賀市高校生等生活支援金」を行うこととし、対象となり得るすべての世帯に申請書を送付しました。

その際、心のサポートとして、中学校卒業時の先生方など61の応援メッセージを同封しました。新型コロナウイルス感染症で人とのつながりが希薄となる中、心温まるメッセージでほっこりしていただけると共に、支援については学業の継続の一助になればと考えております。

■「古賀市高校生等生活支援金」の事業概要

高等学校などに在学中の生徒がいて、生活に困窮している世帯を対象に高校生など1人あたり1万円を給付するもの。

- ・対象①令和2年4月30日時点で古賀市に住所を有し、平成14年4月2日から平成17年4月1日生まれで高等学校などに在籍する生徒がいる世帯
- ②生活保護法に基づく保護を受けておらず、平成31（令和元）年中の世帯収入が生活保護基準の1.3倍以内の場合

■応援メッセージ作成経緯など

“ソーシャルディスタンス”

人との間に物理的な距離を取らなければならない時代だからこそ
人の気持ち、心のぬくもりが伝わるとどんなに嬉しいか・・・・・・・・・・。
人の気持ちを明るくするのも人、暗くするのも人だと思うのです。
これからの未来を創っていく高校生などの心を、
なつかしい恩師の先生方のことばで少しでも照らしてあげたい。

私たちは今、新型コロナウイルス対策係で特別定額給付金を担当しておりますが、市民の皆様の中には、特別定額給付金の申請書などと一緒に、ひとこと感謝の気持ちを添えてくださる方々がおられます。

私たちは、その「ひとこと」に癒され、励まされました。
このような経験もあって、高校生などへ応援メッセージを作成することになりました。

■実施内容

別紙（チラシ）

【問い合わせ先】

古賀市役所 予防健診課 新型コロナウイルス対策係
担当：飯尾・石井・後藤
電話：092-942-1151

シトラスリボンプロジェクト古賀市民へ「優しさの輪」をつなげます

新型コロナウイルスに感染した方やすでに回復された方、そのご家族や医療従事者などへの差別をなくすためのシトラスリボンプロジェクトが全国で少しずつ広がっています。古賀市では最初に古賀市立花見小学校ではじまった取り組みを、さらに市民全体に広めようと公共施設等にパネル（ポスター）とリボンを設置し、市民向けの啓発を始めました。「ただいま」と「おかえり」と言いあえる「優しさの輪」を古賀でつなげます。

【シトラスリボンプロジェクト】

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクト。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラスカラーの色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めている。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）を表す。

◆実施内容

- 職員向け 市職員全員が名札にリボンをつける。
- 市民向け 古賀市役所市民ホール、リーパスプラザこが、サンコスモ古賀にパネルを設置し、職員による手作りリボンを配布している。

◆今後の予定

- ・第一種・第二種感染症指定医療機関「福岡東医療センター」にポスターの設置とリボンの配布
- ・その他、公共施設などにポスターの設置とリボンの配布
 - 古賀市隣保館「ひだまり館」○ししぶ児童センター
 - 米多比児童館○千鳥児童センター○鹿部保育所
 - 地域活動支援センターゆい○千鳥苑
 - ふれあいセンターりん○シルバー人材センター
 - 市民体育館○クロスパルこが○つながり広場
 - 青少年支援センター など 16 施設
- ・古賀市商工会に加入の約 1,000 事業所へポスターの掲示を依頼し、店舗・事業所を通してこの取り組みを広げていく

市役所市民ホール



☆古賀市は人権を尊重し、一人一人を大切にすまちづくりを進めており、シトラスリボンプロジェクトに賛同しています。

☆新型コロナウイルス感染症に関する差別、偏見、いじめ、SNS などでの誹謗中傷はあってはなりません。

【問い合わせ先】

古賀市役所 人権センター
担当：森下、梅田
電話：092-942-1128



「くるサポ訪問」 妊産婦さん訪問をしています

古賀市子育て世帯包括支援センターKuRuKuRuでは、令和2年4月から「くるサポ訪問」を開始しました。4月は緊急事態宣言のため、電話を中心に実施していましたが、5月からは新型コロナウイルス感染予防を徹底し、妊産婦さん訪問を始めています。訪問時には、お祝いとして、協賛企業から提供いただいた、赤ちゃんグッズの試供品や手作り雑貨などをプレゼントしています。（協賛企業は引き続き募集中です）
妊産婦さんのふとした疑問や心配事を少しでも減らせるよう、KuRuKuRuと一緒に考え寄り添える相談先になれたらいいなと思っています。

■キャッチフレーズなど

そっと寄り添い まぁ〜るくサポート

〜そばにはいつも KuRuKuRu

「コロナで妊婦教室が中止になり出産について学ぶ機会が減った」「産後の支援がない」という相談もあり、妊婦さんの不安解消の一助となる情報を提供することで、「話せてよかった」「何かあったら相談します」という声をもらっています。ふとした疑問や心配事を少しでも減らせるよう、一緒に考え寄り添える相談先をめざしています。

■事業内容など

令和2年4月から「くるサポ訪問」訪問を開始しました。4月は緊急事態宣言のため、電話を中心に実施していましたが、5月からは新型コロナウイルス感染予防を徹底し、妊産婦さん訪問を始めています。妊産婦さんが安心して出産・子育てをしていただけるよう、専門職スタッフ（助産師・保健師・管理栄養士・保育士）2人が妊娠後期のご家庭を訪問し、妊産婦さんのお話を伺うことで、産前産後をトータル的にサポートしています。（無料）
対象：市内在住の妊産婦さん（妊娠30～35週ごろから産後おおむね1年まで）

《妊婦さん》妊娠後期の過ごし方、出産準備、出産時の対応の仕方、産後の手続き、育児のサポート状況などを一緒に確認し、必要な情報をお伝えします。

《産後のお母さん》産後の心と体の健康状態の確認、おっぱい・ミルク相談、育児全般の相談・困りごとなど

■協賛企業（ホームページや広報で協賛を募集しています。）

【赤ちゃんグッズの試供品】＜ハッピープレママ＞

BELLE MAISON、WorldFamily、Aprica、natural science、Bean Stalk mom（ビーンスタークママ）、ANGELIEBE、ChinVi（ちゃいなび）、Milpoche、VISUAL INNOVATION

*上記企業はハッピープレママプログラムの協賛企業です。

【手作り雑貨】※新たに協賛いただけることになりました。

社会福祉法人水光福祉会

【問い合わせ先】

古賀市役所 子育て支援課 子育て支援係

担当：松尾・藤本 電話：092-942-1515